清綱一事申
さるも難儀至
つ二度ゝ申上
左可有之書れ
ゝ四ゝ十上ゝ品教
海伊藤信公の侍
言ゝ古者格
書官ゝ宮仕
有ゝ其大要如左
ゝ
門ゝ宮中ニ於ても

有之共大要は此
年之
時分宮中にて伶人
伴公長中納言
幸い他の人々同意
所長九郎
何等の
但今御所
ぶらぶらけ
毎曲の事
の上にすべし
十生
東て
大義
毎曲
仕度

の上にすし伯爵へ
芝の豊玉に居られし
東京に来られ候に
工藤さんが古稀だで
毎日の同じ
仕事に毎日会沢
来て来郵
上京中新聞
陶宮を訪ね
世話ク

十三日

大隈伯爵閣下